

第1回オープンレクチャー

クロストーク「問題行動が表現未満か」

登壇者

久保田 翠

認定NPO法人
クリエイティブサポートレッツ理事長



赤松 玉女

画家 / 京都市立芸術大学学長

日 時

2019年 10月4日 金

16:00 - 18:00

会 場

京都市立芸術大学
中央棟 講義室1(L1)

問題
表現

行動
未満
か
か

定員

100名

聴講無料・申込不要

本人が大切にしていることを、とるに足らないことと一方的に判断しないで、この行為こそが文化創造の軸であると考えています。作品も作らない、高みを目指すわけでもない障害のある人の存在と、障害福祉施設をひたすら社会に開く、それをアートを通して楽しく、おもしろく、プロジェクトにして、社会を揺さぶる。

表現未済、文化祭公式パンフレットより

久保田 翠 (認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長)

1962年生まれ。静岡県浜松市在住。武蔵野美術大学造形学部造形学科卒業後、東京藝術大学大学院美術研究科環境造形デザイン専攻修了。障害のある長男の出生を機に2000年クリエイティブサポートレッツを設立。2004年NPO法人化。2015年認定NPO法人化。2008年より個人を文化創造の拠点とする「たけし文化センター」をスタート。2010年通所型障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァを設立。2015年誰もが利用できる施設公民館「のづか公民館」開所。2018年「たけし文化センター(通所型)」開所。法人設立以来、アートを通じた社会的包摂に取り組んでいる。



トライアングルとは三角形、つまり障害者と家族と支援者の三者が対等に存在する象徴でしょう。障害を持つ人々と、その家族、プロ、アマを超えたあらゆる支援者が、お互いに支え合い、輝きあえる体験をする場を提供したい。

京都ダウン症児を育てる親の会(トライアングル)会報
2015年12月号より

赤松 玉女 (画家/京都市立芸術大学学長)



兵庫県尼崎市生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科造形修了。国内外の美術館やギャラリーでの展覧会を中心に活動。油彩、水彩、フレコ技法等、画材や技法を組み合わせた絵画表現の可能性を研究。1986、87、88年「安井賞展」(西武美術館/東京)。1989-92年イタリア滞在。1993年京都市立芸術大学大学院美術研究科造形専攻教員に兼任。1993、95、97年「IMA絵画の今日」(三越美術館-新宿/東京)。1995、2001年「前田寛治大賞展」(倉吉博物館/鳥取)。2014年「赤松玉女-絵画の軌跡1984-2014」(西脇市岡之山美術館/兵庫)。2018年度から本学美術学部長。2010年車椅子より学外の組織と連携して、知的障害児・者のアート活動支援の分野に取り組んでいる。



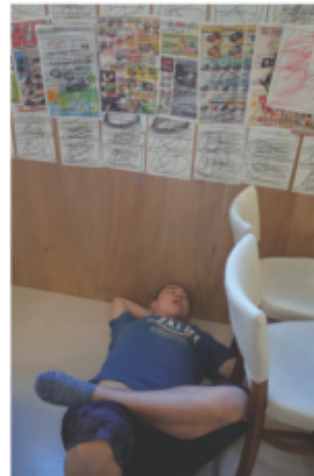
「たけし文化センター(通所型)」2F音楽スタジオ



路上にある大きな影の子

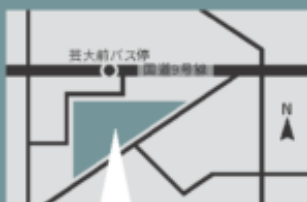


「たけし文化センター(通所型)」1F



好きなようにすごす様子

アクセス



京都市立芸術大学

〒610-1197 京都市西京区大枝番町13-6
各駅より京阪京都市交通バスで乗車、「芸大前」下車すぐ
○JR京都駅前(C2のりば)より2、14、28A系統(約45分)
○阪急桂塚駅より1、2、13、14、28A系統(約20分)
○JR桂川駅より11A、12A系統(約15分)

講義室1(L1)は中央棟 3階です



お問い合わせ先

Eメール art-f@kcu.ac.jp

電話 075-334-2006 (教務学生課/受付時間|平日9:00-17:00)

関連イベント

「未知を開くファシリテーター育成事業 聞こえないを聴く・見えないを視る CASE-1 霧の街のアーカイブ」は、人口減少、災害、紛争などで失われていくコミュニティの環境や生活の遺産を映像やコトバではなく「身体感覚や音」などアート固有の創造的な方法で記憶する芸術実践です。今後も一般聴講可能なシンポジウムを開催いたします。開催概要についてはウェブサイトにて掲載予定です。

2019年10月27日(日)

会場: 京都国立近代美術館

第2回オープンレクチャー

テーマ: 「聞こえないを聴く・見えないを視る」

登壇者: 奥村一郎 (和歌山県立近代美術館学芸員)
カトリヌ・グルー (美学・美術史/フランス国立建築造園高等専門学校養成学校リール校教授)
広瀬浩二郎 (日本宗教史・文化人類学/国立民族学博物館准教授)
毛利悠子 (美術家/東京芸大講師)
砂山太一 (建築家/美術研究/本学美術学部講師)

2019年12月8日(日)

会場: 京都国立近代美術館

第3回オープンレクチャー

テーマ: 「3.11以降のアート × サイエンス × デモクラシー」

登壇者: 加治屋健司 (現代美術史・表象文化論/東京大学大学院総合文化研究科准教授)
近藤健一 (森美術館キュレーター)
ミキ・デザキ (映画監督)
山崎潤也 (水戸芸術館現代美術センター学芸員)
磯部洋明 (宇宙物理学/本学美術学部准教授)
佐藤知久 (文化人類学/本学芸術資源研究センター専任研究員・教授)

